



2009年10月30日
独立行政法人海洋研究開発機構

講演会「再来が危惧される巨大津波－紀州ではどのように備えるのか－」 の開催について

独立行政法人海洋研究開発機構(理事長 加藤康宏)は、文部科学省委託事業「東海・南海・南海地震の連動性評価研究」の一環として、紀伊半島特有の地震リスクについて、最新の研究成果を明らかにするとともに、住民への防災意識向上を図るため、下記により講演会を開催しますのでお知らせいたします。

記

- 1.日 時 :平成21年11月13日(金)19:00～21:00(開場18:00)
- 2.会 場 :尾鷲市立中央公民館(三重県尾鷲市中村町10-41)
- 3.入場料 :無料(事前登録不要)
- 4.主 催 :海洋研究開発機構、三重県、尾鷲市
- 5.後 援 :和歌山県、三重大学、和歌山大学
- 6.プログラム:[別紙](#)参照

別紙

講演会「再来が危惧される巨大津波－紀州ではどのように備えるのか－」 プログラム

19:00	開 会
19:00～19:05	挨 拶
	岩田 昭人(尾鷲市長)
19:05～19:10	挨 拶
	東地 隆司(三重県防災危機管理部長)
19:10～19:40	「巨大地震・津波に備える2つの課題－早期検知と予測の高精度化－」
	金田 義行(海洋研究開発機構 地震津波・防災研究プロジェクトリーダー)
19:40～20:10	「想定震度からみる紀伊半島で発生するであろう地盤災害」
	此松 昌彦(和歌山大学教育学部 教授)
20:10～20:40	「地域主動の防災・減災対策の重要性」
	川口 淳(三重大学大学院工学研究科 准教授)
20:40～21:00	質疑応答
21:00	閉 会

文部科学省委託事業「東海・東南海・南海地震の運動性評価研究」

講演会 「再来が危惧される巨大津波」 ～紀州ではどのように備えるのか～

入場無料 **開催日時** 平成21年11月13日(金)午後7時00分～午後9時00分
開催場所 尾鷲市立中央公民館 三重県尾鷲市中村町10-41
定員200名、事前登録は不要

主 催：海洋研究開発機構、三津町、尾鷲市
後 援：和歌山県、三重大学、和歌山大学

●講演
巨大津波と津波に備える2つの課題～早期検知と予測の高精度化～
海洋研究開発機構 金田 義行
想定震度からみる紀伊半島で発生するであろう地震災害
和歌山大学 北松 昌彦
地域主動の防災・減災対策の重要性
三重大学 川口 淳

1 19:00 開会
2 19:00～19:05 挨拶
尾鷲市長 若田 竜人
3 19:05～19:10 挨拶
三重県防災危機管理部長 東地 隆司
4 19:10～19:40 巨大地震・津波に備える2つの課題～早期検知と予測の高精度化～
海洋研究開発機構 金田 義行
5 19:40～20:10 想定震度からみる紀伊半島で発生するであろう地震災害
和歌山大学 北松 昌彦
6 20:10～20:40 地域主動の防災・減災対策の重要性
三重大学 川口 淳
7 20:40～21:00 質疑応答
8 21:00 閉会

お問い合わせ先
独立行政法人海洋研究開発機構 尾鷲市防災危機管理室
地震津波・防災研究プロジェクト 電話 0597-23-8118
電話 番号：046-667-9328 kikukanni@city.owase.lg.jp
e-mail:chiki@jamstec.go.jp

JAMSTEC

[リーフレット\[PDF: 1.18MB\]](#)

お問い合わせ先：
独立行政法人海洋研究開発機構
(講演会について)
地震津波・防災研究プロジェクト
支援グループリーダー 米倉 司郎 (報道担当)

経営企画室 報道室長 中村 亘